

平成21年11月 東京地区百貨店売上高概況

平成21年12月18日

I. 概況

1. 売上高総額	1,424億円余
2. 前年同月比	-11.9% (店舗数調整後/21か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-11.3%(87.7%) : 非店頭-15.8%(12.3%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	14社 27店 (平成21年10月対比±0店)
5. 総店舗面積	946,658㎡ (前年同月比:-3.9%)
6. 総従業員数	21,217人 (前年同月比:9.9%)
7. 3か月移動平均値	4-6月 -12.4%、5-7月 -12.9%、6-8月 -11.9%、 7-9月 -11.6%、8-10月 -11.4%、9-11月 -11.9%

[参考] 平成20年11月の売上高増減率は-7.2% (店舗数調整後)

【11月売上の特徴】

- (1) 季節商材の歳暮とおせちについては都内各店共にほぼ前年並みと堅調に推移した。歳暮のネット受注は好調で多くの店で2桁増を記録した。また、おせちは少人数用小サイズの商品に人気が集まったが、店によっては高価格帯も予想以上に動いている。
- (2) 衣料品の不振状況に大きな変化はないが、11月下旬から12月にかけて気温が低下したことにより、主力のコート等重衣料にもようやく動きが出てきた。
- (3) 消費者の巣籠り傾向を背景に、部屋着、調理器具、食器、バス・トイレタリー用品等の家庭内で使用する商材は比較的堅調であった。
- (4) 長期化が予想される企業業績の低迷が原因となって、法人外商部門の苦戦が続いている。
- (5) エコポイント制度の効果で、東京地区の家電売上は2か月連続で2桁増となった。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
①増加した: 0店、②変化なし: 3店、③減少した: 17店、④不明: 2店
- (3) 11月歳時記 (文化の日、勤労感謝の日、七五三、歳暮) の売上 (同上)
①増加した: 3店、②変化なし: 4店、③減少した: 9店、④不明: 6店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)
①増加する: 0店、②変化なし: 8店、③減少する: 11店、④不明: 3店

東京地区百貨店 売上高速報 2009年11月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	142,491,859	100.0	-11.9 (-13.0)
紳士服・洋品	11,798,315	8.3	-21.0 (-21.6)
婦人服・洋品	29,358,209	20.6	-16.5 (-17.4)
子供服・洋品	2,333,786	1.6	-18.6 (-18.7)
その他衣料品	3,222,477	2.3	-21.7 (-22.6)
衣 料 品	46,712,787	32.8	-18.2 (-18.9)
身のまわり品	17,571,605	12.3	-10.9 (-12.7)
化粧品	7,484,502	5.3	-9.8 (-10.2)
美術・宝飾・貴金属	6,898,017	4.8	-10.5 (-11.5)
その他雑貨	7,826,444	5.5	-6.7 (-7.2)
雑 貨	22,208,963	15.6	-8.9 (-9.6)
家具	2,223,852	1.6	-17.7 (-18.5)
家電	768,836	0.5	22.8 (22.8)
その他家庭用品	4,519,918	3.2	-11.3 (-12.2)
家 庭 用 品	7,512,606	5.3	-10.8 (-11.6)
生 鮮 食 品	6,602,151	4.6	-6.2 (-7.2)
菓 子	9,632,982	6.8	-6.2 (-7.8)
惣 菜	7,850,407	5.5	-8.4 (-9.9)
その他食料品	15,472,921	10.9	-7.8 (-9.6)
食 料 品	39,558,461	27.8	-7.3 (-8.8)
食 堂 喫 茶	3,332,041	2.3	-12.3 (-13.7)
サ ー ビ ス	2,508,942	1.8	14.6 (14.5)
そ の 他	3,086,454	2.2	-10.7 (-11.3)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)
※

商品券	7,726,181 千円	44.8 (40.6)
従業員数	21,217 人	9.9
店舗面積	946,658 m ²	-3.9

営業日数	30.0 日	前年	30.0 日
------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、14か月連続で全品目がマイナスとなった。しかし、5品目の中で身のまわり品、雑貨、家庭用品、食料品が先月より改善する動きとなり、衣料品が落とす結果となった。また、婦人服・洋品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、家具、生鮮食品、菓子、惣菜が先月より改善した。家電は22.8%と全国同様4か月連続のプラスとなり、2か月連続の二桁増となった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-11.9	—	21か月連続マイナス
紳士服・洋品	-21.0	-1.9	20か月連続マイナス
婦人服・洋品	-16.5	-3.6	16か月連続マイナス
子供服・洋品	-18.6	-0.3	15か月連続マイナス
その他衣料品	-21.7	-0.6	19か月連続マイナス
衣料品	-18.2	-6.4	16か月連続マイナス
身のまわり品	-10.9	-1.3	20か月連続マイナス
化粧品	-9.8	-0.5	12か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-10.5	-0.5	15か月連続マイナス*
その他雑貨	-6.7	-0.3	18か月連続マイナス*
雑貨	-8.9	-1.3	19か月連続マイナス
家具	-17.7	-0.3	20か月連続マイナス
家電	22.8	0.1	4か月連続プラス
その他家庭用品	-11.3	-0.4	18か月連続マイナス
家庭用品	-10.8	-0.6	18か月連続マイナス
生鮮食品	-6.2	-0.3	5か月連続マイナス*
菓子	-6.2	-0.4	10か月連続マイナス*
惣菜	-8.4	-0.4	20か月連続マイナス*
その他食料品	-7.8	-0.8	2か月連続マイナス*
食料品	-7.3	-1.9	14か月連続マイナス
食堂喫茶	-12.3	-0.3	13か月連続マイナス
サービス	14.6	0.2	13か月連続プラス
その他	-10.7	-0.2	3か月連続マイナス
商品券	44.8	1.5	4か月連続プラス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・西田・佐藤まで

TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>